

奥原孝幸 （大学院保健福祉学研究科兼務 保健福祉学部兼務）

1. 著書

- 1) 共著, 野本義則・古田常人・奥原孝幸他28名, 2024年12月, 日本語, 作業療法学ゴールドマスターテキスト 作業療法管理学 第1版, 第5章卒後教育とキャリア形成, メジカルビュー社, 243-245

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 神奈川県作業療法士会, 理事, 2009. 4. 1～
- 2) 横須賀市自殺対策協議会, 副座長, 2021. 4. 1～
- 3) 第20回神奈川県作業療法学会, 演題査読委員, 2024. 4. 1～
- 4) 特定NPO法人さざなみ会, 監事, 2024. 4. 1～
- 5) 日本病院・地域精神医学会, 評議員, 2024. 4. 1～

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス 専攻説明、マインドフルネス実演, 2024. 8. 3～4
- 2) 学科別説明会 専攻説明担当, 2024. 10. 19
- 3) 湘南学院高等学校 出張講義, 2024. 11. 2
- 4) 神奈川精神医療人権センター 電話相談、病院訪問ボランティア, 2021. 4. 1～
- 5) 神奈川精神医療人権センター 神奈川県立精神医療センター病院訪問, 2024. 11. 15
- 6) 横須賀市自殺予防街頭キャンペーン スタッフ, 2025. 3. 19
- 7) ミニオープンキャンパス 専攻説明担当, 2025. 3. 27

7. 講演, 放送

- 1) 横須賀市教育研究所, 教職2年経験者研修講座, 講演, 2024. 7. 29
- 2) ブルー湘南FM, 大学リレー放送, 精神障害者の地域生活, 出演, 2024. 8. 12
- 3) 東京都立墨田川高等学校大学模擬授業, 講義, 2024. 10. 11
- 4) 神奈川県作業療法士会, 現職者基礎研修「作業療法生涯教育概論」講演, 2024. 10. 20
- 5) 神奈川県作業療法士会臨床実習指導者講習会にて世話人（講師）, 2024. 12. 8

8. 学会等での活動

- 1) 第66回日本病院・地域精神医学会総会神奈川大会運営委員長（本学開催）, 2024. 12. 7～8
- 2) 第20回神奈川県作業療法学会演題査読委員, 2024. 4. 1～

9. 学内教育活動

1) 学部

精神障害作業療法演習にてピア（当事者）への面接演習を実施, 2024. 6
就労支援施設のピアスタッフ, メンバー等を招いた授業を実施, 2024. 11

2) 博士前期課程

研究科博士前期課程論文審査委員 主査1名, 副査1名, 2025. 1

10. 学内各種委員会活動

- 1) リハビリテーション学科作業療法学専攻長, 2023. 4
- 2) 研究科入試委員会, 2023. 4

15. その他

- 1) 横浜YMCA学院専門学校作業療法科非常勤講師
- 2) 医療法人山口病院非常勤

白濱勲二（大学院保健福祉学研究科兼務 保健福祉学部兼務）

1. 著書

- 1) 共著, 白濱勲二, 2025年03月, 日本語, 基礎運動学テキスト, 第15章 運動発達と姿勢反射, 南江堂, 211-226

3. その他の著作

- 1) 白濱勲二, 2024年12月～2025年2月, 株式会社アイペック 作業療法士国家試験 全国公開模擬試験 作問, 基礎作業学・作業療法管理学. 義肢・装具, 第2回、第3回全国公開模試

4. 学会発表等

- 1) ポスター, 共同研究者, 落合佑太、白濱勲二、小河原格也, 「誤嚥性肺炎患者の訓練量と訓練開始時期が転帰先に与える影響」, 第18回日本作業療法研究学会学術大会. 2024年8月31日～9月1日, 2024年08月
- 2) ポスター, 筆頭者・責任者, Kunji Shirahama, Kazuki Takase, Tomonori Yasuda., 「The Survey Study of Rehabilitation Treatment after Breast Reconstruction for Breast Cancer in Japan」 Sapporo, Hokkaido from November 6 to 9, 2024., The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress (APOTC 2024), 2024年11月
- 3) ポスター, 共同研究者, Kazuki Takase, Kunji Shirahama, 「Consideration of the timing of the start of rehabilitation after breast reconstruction surgery with DIEP flap」 Sapporo, Hokkaido from November 6 to 9, 2024., The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress (APOTC 2024), 2024年11月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本作業療法士協会, 学術誌 作業療法第一査読者, 2024. 4. 1～
- 2) 日本作業療法学会, 学会演題査読委員, 2024. 4. 1～
- 3) 日本作業療法学会, 一般演題座長, 2024. 4. 1～
- 4) 日本作業療法研究学会, 理事, 2024. 4. 1～
- 5) 日本作業療法研究学会, 学会演題査読委員, 2024. 4. 1～
- 6) 日本作業療法研究学会, 日本作業療法研究学会雑誌 査読委員, 2024. 4. 1～

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス, 2024. 8. 3-4
- 2) ミニオープンキャンパス, 2024. 10. 19/2025. 3. 27
- 3) 厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会 世話人・講師, 2024. 12. 14

7. 講演，放送

- 1) マイナビ講義「脳機能イメージングと神経心理学から脳の可塑性を高める」, 2024. 4～2025. 3, 視聴者118名（2024-11-6時点）
- 2) 夢ナビライブ2024. 研究室訪問 , 2024. 10. 29, 参加者62名. 2024年10月19日

8. 学会等での活動

- 1) 日本作業療法士協会：学術誌 作業療法：第一査読者, 2024. 4～
- 2) 日本作業療法学会：演題査読委員, 2024. 4～
- 3) 日本作業療法研究学会：理事. 査読委員・理事会. , 2024. 4～

9. 学内教育活動

- 1) 学部
学部担当科目等の視聴覚教材製作, 通年
学部卒業研究指導, 通年
学部3年生担任, 通年
- 2) 博士前期課程博士後期課程
研究科講義, 演習, 研究指導, 通年
- 3) 博士課程前期
指導教員および大学院生の教育・研究指導, 通年
- 4) 博士後期課程
指導補助教員および大学院生の教育・研究指導 通年, 通年

10. 学内各種委員会活動

- 1) 全学入試委員会 委員, 2024. 4～
- 2) 吹奏楽部サークル顧問, 2024. 4～

15. その他

- 1) 大学広報活動 神奈川県立鎌倉高等学校 2024. 7. 23

笹田 哲（大学院保健福祉学研究科兼務）

1. 著書

- 1) 単著, 笹田哲, 2025年02月, 日本語, 発達が気になる子の運筆力・認知力アップワークブック, 中央法規, 1-119
- 2) 単著, 笹田哲, 2025年02月, 日本語, 読み書きが苦手な子の斜めマスワークブック, 中央法規, 1-141

2. 学術論文

- 1) 原著論文, 責任著者, 丸岡ちひろ, 池田公平, 笹田哲, 2024年05月, 日本語, 急性期脳血管疾患障害者の作業実践における質的研究—作業療法士の語りからみる作業の用いられ方の意義解明—, 査読あり, 作業療法
- 2) 原著論文, 責任著者, Nakamura T, Nagayama H, Sasada S., 2024年11月, 英語, Development and Validation of the Participation Questionnaire for Preschoolers with Autism Spectrum Disorder: Structural Validity, Internal Consistency, and Construct Validity, 査読あり, Physical & Occupational Therapy In Pediatrics

4. 学会発表等

- 1) ポスター, 筆頭者, S Sasada, The practice for Japanese class in the first grader in a elementary school in Japan～Collaboration with occupational therapist and teachers～, 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress, 2024年11月
- 2) ポスター, 共同研究者, Y Shigeta, S Sasada, The Process of Male Stroke Survivors' Continued Social Participation in Japan to Come to Terms with Their Values, 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress, 2024年11月
- 3) 口頭, 共同研究者, K Goto, T Nakamura, S Sasada, Characteristics of Child Maltreatment Prevention in Japanese Occupational Therapy: A Qualitative Descriptive Analysis, 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress, 2024年11月
- 4) ポスター, 共同研究者, Y Inoue, S Sasada, Trends in occupational therapy research of distal radius fractures: Comparison between Japan and other countries over the past 5 years using text mining, 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress, 2024年11月
- 5) ポスター, 共同研究者, 後藤健太郎, 池田公平, 濱田匠, 中村拓人, 笹田哲, 作業療法分野における児童虐待に係る研究: スコーピングレビュー, 第58回日本作業療法学会, 2024年11月
- 6) ポスター, 共同研究者, 野村真弓, 笹田哲, 国内外における認知症高齢者に対する作業療法の質的研究に関する文献研究, 第58回日本作業療法学会, 2024年11月
- 7) ポスター, 共同研究者, 林慎也, 笹田哲, 片麻痺者の回復期における麻痺手の使用頻度と健康

統制感の関連, 第58回日本作業療法学会, 2024年11月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 大学教育質保証・評価センター, 大学機関別認証評価 専門委員, 2024. 4. 1～
- 2) NHK, Eテレ特別支援教育「ストレッチマン」番組企画委員, 2024. 4. 1～
- 3) British Journal of Occupational Therapy, 査読委員, 2024. 4. 1～
- 4) 教育出版社, 小学校教科書「国語科書写」 編集委員, 2024. 4. 1～
- 5) 教育出版社, 中学校教科書「国語科書写」 編集委員, 2024. 4. 1～
- 6) 日本作業行動学会, 理事, 2024. 4. 1～
- 7) 日本発達系作業療法学会, 理事, 2024. 4. 1～
- 8) 日本作業療法学会, 演題採択委員, 2024. 4. 1～

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス 専攻説明担当, 2024. 8. 3
- 2) 神奈川県立養護学校自立活動（専門職）OT部会アドバイザー, 2024. 4. 1～
- 3) 横須賀市馬堀小学校特別支援学級 訪問交流授業, 2024. 10.
- 4) 横須賀市馬堀小学校特別支援学級 学内交流授業, 2024. 11.

7. 講演, 放送

- 1) 横須賀エフエム 「子どものお箸の使い方指導」, 2024. 7.
- 2) NHK Eテレ「でこぼこポン」箸が上手に使える発明品, 2024. 7.
- 3) NHK Eテレ「でこぼこポン」字が上手に書ける発明品, 2024. 12

9. 学内教育活動

1) 学部

卒業研究 指導教員 3名, 2024. 4～

2) 博士前期課程

大学院博士前期課程 指導教員 5名, 2024. 4～

大学院 修士号取得 3名, 2024. 4～

3) 博士後期課程

大学院博士後期課程 指導教員 4名, 2024. 4～

4) 大学院

特別研究員 3名, 2024. 4～

10. 学内各種委員会活動

- 1) 全学入試委員会, 2024. 4
- 2) 学長補佐会議, 2024. 4
- 3) 総務企画委員会, 2024. 4
- 4) 教育研究審議会, 2024. 4
- 5) 任期委員会, 2024. 4
- 6) 承認委員会, 2024. 4
- 7) アドミッション運営会議, 2024. 4
- 8) 研究科運営委員会, 2024. 4
- 9) 内部質保証推進部会, 2024. 4
- 10) 県評価委員会, 2024. 4

玉垣 努（大学院保健福祉学研究科兼務）

4. 学会発表等

- 1) 口頭, 筆頭者, 玉垣 努, チェアスキー滑走中の3次元動作分析 ―健常者と脊損者の比較―, 第38回リハ工学カンファレンス, 2024年08月
- 2) 口頭, 筆頭者, 玉垣 努, 尾上弘基, ポータブル三次元動作分析システムによるゲレンデでのシットスキー動作計測の実用性の検証, 第58回日本作業療法学会, 2024年11月
- 3) 口頭, 共同研究者, 尾上弘基, 玉垣 努, ポータブル三次元動作解析装置を用いた完全頸髄損傷チェアスキーヤーの滑走中の動作分析, 第58回日本作業療法学会, 2024年11月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 神奈川リハビリテーション事業団, 評議委員, 2020. 4. 1～
- 2) 認定介護福祉士養成研修, 認証審査員, 2022. 4. 1～
- 3) 第58回 日本作業療法学会, 演題審査委員, 2020. 4. 1～
- 4) ヨスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会, 委員, 2019. 4. 1～
- 5) 神奈川県総合リハビリテーションセンターあり方検討会, 委員, 2025. 4. 1～

6. 社会貢献

- 1) 神奈川リハビリテーション事業団 評議委員, 2020. 4. 1～,
- 2) 認定介護福祉士養成研修 認証審査員, 2022. 4. 1～,
- 3) 第58回 日本作業療法学会 演題審査委員, 2020. 4. 1～,
- 4) 神奈川県総合リハビリテーションセンターあり方検討会 委員, 2024. 4. 1～,
- 5) オープンキャンパス 展示担当, 2024. 8. 3～4,

7. 講演, 放送

- 1) よこすかOT勉強会 講師, 2024. 4. 14-2025. 3. 18まで計12回
- 2) 神奈川県地域支援センター主催のハンドリング入門, 2024. 7. 6
- 3) SCIOT主催東海ブロック大会 講師, 2024. 9. 7
- 4) マークスター主催 臨床で役立つ姿勢・動作分析の講師, 2024. 9. 9, 29
- 5) SCIOT主催 脊損研究会講習会 講師, 2025. 2. 22-23

8. 学会等での活動

- 1) 第38回リハ工学カンファレンス 発表, 2025. 8. 23-25
- 2) 第58回日本作業療法学会 発表, 2025. 11. 9-10

9. 学内教育活動

1) 学部

身体障害領域の特別講義（実際の片麻痺者）, 2024. 7. 3

身体障害領域のオスキー実施, 2024. 7. 10

日常生活援助論において頸髄損傷者及び脳卒中者を招聘し、実践的な教育, 2024. 7. 10. 29 2
024. 7. 11. 12

卒業研究において、4名のゼミ学生を指導し卒業・就職まで支援, 2024. 7. 10-11. 30

2) 学部博士前期課程

大学院前期課程の1名のゼミ生を指導, 2024. 4. 1-

10. 学内各種委員会活動

1) 全ての入試試験において面接官担当, 2024. 9-

2) 実習ステーションWG, 2024. 4-

3) 教務委員会, 2024. 4-

4) 時間割ワーキング, 2024. 4-

長山 洋史 (大学院保健福祉学研究科兼務)

2. 学術論文

- 1) 原著論文, 共著者, Shimada T, Morimoto T, Nagayama H, Nakamura N, Aisu K, Kito A, Kojima R, Yamanushi A, Kawano K, Hikita N, Yotsumoto K, Ebisu T, Kawamura M, Inoue T, Orui J, Asakura T, Akazawa M, Kobayashi M., 2024年07月, 英語, Effect of individualized occupational therapy on cognition among patients with schizophrenia: A randomized controlled trial., 査読あり, Schizophr Res, 2024 Jul;269, 18-27, 10.1016/j.schres.2024.04.018
- 2) 原著論文, 共著者, Nakamura T, Nagayama H, Sasada S, 2024年11月, 英語, Development and Validation of the Participation Questionnaire for Preschoolers with Autism Spectrum Disorder: Structural Validity, Internal Consistency, and Construct Validity., 査読あり, Phys Occup Ther Pediatr., 2024 Nov 3;1-16, 10.1080/01942638.2024.2421856.
- 3) その他 (報告等), 共著者, Takuto Nakamura, Iku Koshio, Sho Maruyama, Kohei Ikeda, Hirofumi Nagayama, Satoshi Sasada, 2024年12月, 英語, Longitudinal Measurement Properties of the Participation Questionnaire for Preschoolers: Reliability, Responsiveness, and Interpretability, 査読あり, medRxiv, 2024.12.13.24318179, 10.1101/2024.12.13.24318179
- 4) 原著論文, 共著者, 伊藤 佳奈, 長山 洋史, 田原 正俊, 高橋 香代子, 2024年11月, 日本語, 脳卒中片麻痺患者における作業遂行能動性評価(Occupational Performance with Autonomy scale:OPA)の開発 回復期リハビリテーション入院患者での検討, 査読あり, 作業療法の実践と科学, 2024年6巻, 4号, 117-127, 10.32151/psot.6.4_117
- 5) 原著論文, 共著者, 渡 邊 恵, 長島 俊輔, 玉 川 淳, 加藤木真史, 福岡 梨紗, 佐々木杏子, 池田 公平, 樋口 良子, 岸 川 学, 森 朱 輝, 長山 洋史, 藤田 峰子, 志村 華絵, 五味 郁子, 高橋 恭子, 水戸 優子, 2024年11月, 日本語, 「教育用模擬電子カルテ」を活用した IPE の実装と教育効果—紙カルテと電子カルテの事例提供方法の比較に基づく検証—, 査読あり, ヒューマンサービス学会誌, 2024; (2) :, 44-52

4. 学会発表等

- 1) ポスター, 筆頭者, Hirofumi Nagayama, Junya Uchida, Moeka Yamada, Kounosuke Tomori, Kohei Ikeda., Latent Class Analysis to Identify Patient Characteristics That Incorporating Multiple Outcomes in Acute Stroke. , The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024 Sapporo, 2024年11月
- 2) ポスター, 共同研究者, Takuto Nakamura, Hiroyasu Shiozu, Hirofumi Nagayama. , Effectiveness of Occupational Performance Coaching for Children and Caregivers: A Scop

ing Review.,The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024 Sapporo,2024年11月

- 3) ポスター, 共同研究者, Takao Kaneko, Hirohumi Nagayama, Takuto Nakamura, Kohei Ikeda, Natsuki Inoue, Ayaka Niimi, Taisei Takeda, Junya Uchida. , Cost-effectiveness of occupational therapy for older adults: an updated systematic review. , The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024 Sapporo, 2024年11月
- 4) ポスター, 共同研究者, Natsuki Inoue, Nagayama Hirofumi. I, Identifying characteristic of Subacute Stroke Patients Benefiting from ADL training: Applying Latent Class Analysis., The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024 Sapporo, 2024年11月
- 5) ポスター, 共同研究者, 小塩 育, 中村 拓人, 長山 洋史, 自閉スペクトラム症の未就学児のメンタルヘルス: Strengths and Difficulties Questionnaireの潜在移行分析, 日本発達系作業療法学会 第13回学術大会, 2025年03月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) Archeves Physical medicine and Rehabilitation(アメリカリハ医学会誌), 査読者, 2024年～
- 2) Australian Occupational Therapy Journal (オーストラリア作業療法学会誌), 査読者, 2024年～
- 3) 日本作業療法協会学術誌「作業療法」, 査読者, 2023年～
- 4) 日本臨床作業療法学会誌, 査読者, 2023年～
- 5) 日本老年療法学会, 評議委員, 2021年～
- 6) 日本作業療法学会, 査読者, 2018年～
- 7) 日本作業療法士協会, 学術部員, 2023年～

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス 来場者対応担当, 2024
- 2) 高校へ出張講義, 2024
- 3) 私立高校の進路指導担当教員に対し訪問面談, 2024

8. 学会等での活動

- 1) 第58回日本作業療法学会 教育講演4「繰り返し計測データの解析方法 ― 対応のあるデータに基づく統計的手法の活用」, 講師: 新谷歩, 座長, 2024. 11. 9
- 2) 第20回東京都作業療法士学会 公募企画8: 「私たち作業療法士は「家族」をどのように捉えるべきか」 座長, 2024. 7. 14

9. 学内教育活動

1) 学部

運動学 科目責任者, 2024
身体機能評価学Ⅰ 科目責任者, 2024
身体機能評価学Ⅱ 科目責任者, 2024
評価学演習 , 2024
地域作業療法学, 2024
研究法, 2024
卒業研究 担当学生2名, 2024

2) 博士前期糧

機能障害作業療法学, 2024

3) 博士前期課程

機能障害作業療法学演習, 2024

10. 学内各種委員会活動

- 1) 研究倫理審査委員 副委員長, 2024. 4
- 2) 専攻内入試広報ワーキンググループ委員, 2024. 4-2024. 9

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究 (B) , 代表者, 長山 洋史, 池田 公平 , 中村 拓人 , 友利 幸之介 東京工科大学, 岸 知輝 杏林大学, 山内 慶太 慶應義塾大学, リハビリテーションの効果を最大化するシステム構築, 18, 590千円, 2024. 4. 1, 2029. 3. 31
- 2) 基盤研究 (C) , 分担者, 友利 幸之介 東京工科大学, 長山 洋史 神奈川県立保健福祉大学, 澤田 辰徳 東京工科大学, 医療保健学部, 大野 勘太 東京工科大学, 竹林 崇 大阪公立大学, 作業療法のエビデンス構築に向けたビックデータ(患者レジストリ)の構築に関する研究, 2, 860千円, 2023. 4. 1, 2028. 3. 31
- 3) 基盤研究 (C) , 分担者, 池田公平, 長山洋史, 臨床現場の医療従事者のためのInterprofessional Educationプログラムの構築, 2, 860千円, 2023. 4. 1, 2028. 3. 31
- 4) 基盤研究 (C) , 分担者, 中村 拓人, 長山 洋史, 笹田 哲, 効果的な児童発達支援には何が必要か: 評価指標の開発と促進因子の抽出, 3, 640千円, 2022. 4. 1, 2026. 3. 31

13. 受賞

- 1) 作業療法の実践と科学, 2024年最優秀論文賞, 2025年03月, 共同著者
- 2) 日本発達系作業療法学会 第13回学術大会, 大会長特別賞, 2025年03月, 共同演者

15. その他

- 1) 慶應義塾大学非常勤講師

渡邊 愛記（大学院保健福祉学研究科兼務 保健福祉学部兼務）

2. 学術論文

- 1) 原著論文, 共著者, Kuninori Sano, Aki Watanabe, Takayuki Kawaguchi, Michinari Fukuda, Yasunori Sakamoto, 2024年08月, 英語, Clinical and Cognitive Characteristics Associated with the Onset of Delirium in Postoperative Cardiovascular Surgery Patients Admitted to the ICU, 査読あり, Progress in Rehabilitation Medicine, 2024 Vol. 9, 10. 2490/prm. 20240026
- 2) 原著論文, 共著者, Mitsue Morita, Aki Watanabe, Takayuki Kawaguchi, Michinari Fukuda, Kensuke Serizawa, Takuya Ohkubo, 2024年09月, 英語, Occupational dysfunction as a factor affecting changes in quality of life before and after hospitalization in patients with Parkinson's disease, 査読あり, Asian Journal of Occupational Therapy, Vol. 20, 86-92, 10. 11596/asiajot. 20. 86
- 3) その他（報告等）, 共著者, 森田満恵, 渡邊愛記, 川口敬之, 2024年12月, 日本語, 橈骨遠位端骨折患者の患手を使用した大切な作業への取り組みにおけるカナダ作業遂行測定と自己モニタリングシートを併用した作業療法実践の効果, 査読あり, 作業療法, 43巻, 797-804, 10. 32178/jotr. 43. 6_797

4. 学会発表等

- 1) ポスター, 共同研究者, 高岩亜紀子, 小俣みのり, 渡邊愛記, 山田紀彦, 橈骨遠位端骨折術後の炎症に対する主観的評価の経過とQuick DASH得点との関連性, 第26回日本ハンドセラピー学会学術集会, 2024年04月
- 2) ポスター, 共同研究者, 小澤弘幸, 渡辺愛記, 川口敬之, 小林健太郎, 視覚誘導性運動錯覚の実施時間の設定が脳卒中上肢麻痺の改善に及ぼす影響に関する予備的検討, 第61回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2024年06月
- 3) ポスター, 筆頭者・責任者, Aki Watanabe, Takayuki Kawaguchi, Misuzu Kaneko, Kuninori Sano, Ayumi Nobematsu, Takeshi Kobayashi, Structural Relationships for Changes in Quality of Life in Breast Cancer Patients Six Months After Surgery, The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024, 2024年11月
- 4) ポスター, 共同研究者, Takayuki Kawaguchi, Aki Watanabe, Hideki Tsuruta, Shinsuke Kato, Yuya Oikawa, Keiichiro Furuya, Mai Sakimoto, Taichi Matsuoka, Practitioners Involvement in Building Partnerships with Persons with Severe Mental Illness: A Thematic Analysis Based on Practitioners' Experiences and Knowledge in Recovery-oriented Services, The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024, 2024年11月
- 5) ポスター, 共同研究者, Koshi Matsuoka, Aki Watanabe, Takayuki Kawaguchi, An intervent

ion using e-ASUHS to support goal setting in daily activities at a level of difficulty appropriate for an affected upper extremity function of patients with stroke: a case series, The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024, 2024年11月

- 6) ポスター, 共同研究者, Hiroyuki Ozawa, Aki Watanabe, Yasumichi Matsuzawa, Yuka Tsuneyoshi, Kentaro Kobayashi, Efficacy of Occupational Therapy Combined with Kinesthetic Illusion Induced by visual stimulation and Low frequency Repetitive Transcranial Magnetic Stimulation for Patients with severe upper limb paralysis after stroke: Case Series, The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024, 2024年11月
- 7) ポスター, 共同研究者, Kuninori Sano, Aki Watanabe, Katsuo Kimura, Yasunori Sakamoto, Akinobu Nemoto, Factors contributing to the long-term persistence of effects of Deep Brain Stimulation on motor function and ADL ability in patients with Parkinson's Disease, The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024, 2024年11月
- 8) ポスター, 共同研究者, Keiichiro Furuya, Taichi Matsuoka, Takayuki Kawaguchi, Aki Watanabe, Verification of the efficacy of practices focused on the quality of activities for inpatients with severe dementia: A single-system design, The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024, 2024年11月
- 9) ポスター, 共同研究者, Takao Nagayoshi, Koshi Matsuoka, Aki Watanabe, The use of e-ASUHS to share goals of patients with post-stroke hemiparesis to professionals: a case that was able to cook using the affected upper extremity, The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024, 2024年11月
- 10) ポスター, 共同研究者, 高岩重紀子, 渡邊愛記, 中村みのり, 鈴木満恵, 山田紀彦, 橈骨遠位端骨折術後の主観的炎症症状における客観的評価および機能との関連, 第58回日本作業療法学会, 2024年11月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本作業療法学会, 演題査読委員, 2006. 12～
- 2) 厚生労働省臨床実習指導者講習会, 講師・世話人, 2019. 11～

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス, 2024. 8. 3～8. 4
- 2) ミニオープンキャンパス, 2025. 3. 27
- 3) ヒューマンサービス公開講座春期 運営, 2024. 5. 25
- 4) ヒューマンサービス公開講座秋期 運営, 2024. 10. 12

7. 講演，放送

- 1) いつまでも元気で若くすごすための生活活動量，令和6年度ゆめクラブ大学講座，2024. 9. 17
- 2) 神奈川県作業療法士会 第6回臨床実習指導者講習会，2024. 12. 14

9. 学内教育活動

1) 博士前期課程

大学院生指導補助 4名，2024. 4～

大学院前期博士課程学位審査 主査2名，副査1名，2025. 1～

2) 学部

卒業研究指導 4年生2名，3年生2名，2024. 4～

科目責任者 6科目，2024. 4～

担任 2年生，2024. 4～

チューター，2024. 4～

10. 学内各種委員会活動

- 1) 全学広報委員会，2024. 4～
- 2) ヒューマンサービスセンター 国際協働部門，2023. 4～
- 3) ヒューマンサービスセンター 地域貢献部門，2024. 4～

11. 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 三菱財団社会福祉事業・研究，分担者，川口敬之，渡邊愛記，加藤伸輔，鶴田英規，松岡太一，及川裕也，古屋慶一郎，精神障害当事者のリカバリーに向けた共同意思決定実施ガイドランスの開発，1,890千円，2024. 10. 1, 2026. 9. 30
- 2) 一般社団法人神奈川県作業療法士会研究助成事業，分担者，甲本夏穂，藤本幹，牛木彩子，長志保，渡邊愛記，福嶋祐子，出産・育児を経験した作業療法士が抱く「作業療法士観」構築の相互関係，127千円，2024. 3. 19, 2027. 3. 31

13. 受賞

- 1) 日本作業療法学会 学術誌「作業療法」第42巻 表彰論文，奨励賞，2024年07月

小河原格也（大学院保健福祉学研究科兼務 保健福祉学部兼務）

4. 学会発表等

- 1) 口頭, 共同研究者, 落合佑太, 白濱勲二, 小河原格也, 誤嚥性肺炎患者の訓練量と訓練開始時期が転帰先に与える影響, 第18回 日本作業療法研究学会 学術大会, 2024年09月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本作業療法士協会, 事例登録査読委員, 2019年4月～
- 2) 日本老年療法学会, 査読委員, 2024年4月～
- 3) 神奈川県作業療法士会, 認知症対策委員, 2022年4月～
- 4) 三浦市地域ケア連携会議, 構成員, 2019年4月～
- 5) 三浦市地域包括支援センター運営懇談会, 構成員, 2019年4月～

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス, 2024. 4～
- 2) 学科別説明会, 2024. 4～
- 3) グループホームいずみ運営推進委員, 2016. 4～
- 4) 認知症フレンドリーよこすか, 2018. 4～
- 5) フレンドリーみうら, 2024. 4～
- 6) RUN伴三浦半島, 2017. 4～

7. 講演, 放送

- 1) 厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会 講師・世話人, 2024. 12. 14
- 2) クリオ湘南追浜サニークレスト「フレイルとは」講師, 2025. 1. 15
- 3) 三浦市在宅医療・介護多職種連携研修「SCDおよびMCI段階における生活行為の障害と生活支援」講師, 2025. 1. 24
- 4) 神奈川県作業療法士会、現職者選択研修「老年期の作業療法実践トピックス」講師, 2025. 2. 2
- 5) 神奈川県作業療法士会「認知症フレンドリー社会の実現に向けて：日本の取り組みとこれから」講師, 2025. 3. 28

9. 学内教育活動

- 1) 学部、研究科
科目担当の視聴覚教材作成など, 2024. 4～
- 2) 学部

作業療法学専攻4年生担任, 2024. 4～

学部卒業研究指導, 2024. 4～

Windsurfingサークル顧問, 2024. 4～

SPOTサークル顧問, 2024. 4～

3) 研究科

大学院副指導, 2024. 4～

10. 学内各種委員会活動

1) 図書委員会, 2024年4月1日～

2) ヒューマンサービスパーチ, 2024年4月1日～

3) 入試広報ワーキンググループ, 2024年9月1日～

4) 保健医療福祉論タスクフォース, 2024年4月1日～

5) 専攻 実践教育センター関連ワーキング, 2024年4月1日～

6) 専攻 専門科目見直しワーキング, 2024年4月1日～

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

1) 若手研究, 代表者, 小河原格也, 高齢者の運動学習における脳内活動の縦断的变化と補助手段活用による促進効果の検証, 2, 990千円, 2019年04月, 2025年03月

2) 基盤研究 (C) , 分担者, 黒河内仙奈, 間瀬由紀, 島津尚子, 小河原格也, 末田千恵, 脳卒中患者に対する退院前訪問指導マニュアルの開発, 4, 160千円, 2020年04月, 2025年03月

12. 学内研究助成金の受託

1) 研究助成 A (協働研究) , 代表者, 小河原格也, 成松宏人, 中村翔, 平瀬達哉, 新村直子, 池田公平, スマートフォンアプリケーション版Mini-Cogと認知機能ドメインおよび健康関連アウトカムとの関連性, 1, 004千円, 2024年04月, 2025年03月

池田公平

2. 学術論文

- 1) 原著論文, 筆頭著者・責任著者, Kohei Ikeda, Takao Kaneko, Junya Uchida, Takuto Nakamura, Taisei Takeda, Hirofumi Nagayama, 2024年04月, 英語, Identifying profiles of stroke patients benefitting from additional training: a latent class analysis approach, 査読あり, Journal of rehabilitation medicine, 2024 Vol. 56, <https://doi.org/10.2340/jrm.v56.22141>
- 2) 原著論文, 筆頭著者・責任著者, Kohei Ikeda, Satoshi Sasada, 2024年07月, 英語, Identifying characteristics of stroke patients benefitting from interprofessional collaboration, 査読あり, British Journal of Occupational Therapy, 2024 Vol. 87, <https://doi.org/10.1177/03080226241233127>
- 3) 原著論文, 共著者, 林慎也, 池田公平, 村仲準一郎, 神保匡良, 田中雅士, 高見澤広太, 笹田哲, 2024年07月, 日本語, 脳卒中のリハビリテーションにおける患者報告アウトカム スコーピングレビュー, 査読あり, 作業行動研究, 2024 Vol. 28, 7-17
- 4) 原著論文, 共著者, 丸岡ちひろ, 池田公平, 笹田哲, 2024年10月, 日本語, 急性期脳血管疾患障害者の作業実践における質的研究 作業療法士の語りからみる作業の用いられ方の意義解明, 査読あり, 作業療法, 2024 Vol. 43, 607-613, https://doi.org/10.32178/jotr.43.5_607
- 5) 原著論文, 共著者, Takuto Nakamura, Iku Koshio, Sho Maruyama, Kohei Ikeda, Hirofumi Nagayama, Satoshi Sasada, 2024年12月, 英語, Longitudinal Measurement Properties of the Participation Questionnaire for Preschoolers: Reliability, Responsiveness, and Interpretability, 査読なし, medRxiv (preprint), <https://doi.org/10.1101/2024.12.13.24318179>
- 6) 原著論文, 共著者, 渡邊恵, 長島俊輔, 玉川淳, 志村華絵, 加藤木真史, 佐々木杏子, 森朱輝, 藤田峰子, 長山洋史, 池田公平, 五味郁子, 樋口良子, 福岡 梨紗, 岸川学, 高橋恭子, 水戸優子, 2025年01月, 日本語, 保健福祉学部における多職種連携の推進を目的とした「教育用模擬電子カルテ」の導入と教育効果: パイロットスタディ, 査読あり, 保健医療福祉連携, 2024 Vol. 17, 146-156, [10.32217/jaipe.17.2_146](https://doi.org/10.32217/jaipe.17.2_146)
- 7) 原著論文, 共著者, 後藤健太郎, 池田公平, 濱田匠, 中村拓人, 笹田哲, 2025年01月, 日本語, 作業療法士は児童虐待とどのように向き合うべきか? スコーピングレビューから見た現状と課題, 査読あり, 作業療法, 2025 Vol. 44
- 8) 原著論文, 共著者, 渡邊恵, 長島俊輔, 玉川淳, 志村華絵, 加藤木真史, 佐々木杏子, 森朱輝, 藤田峰子, 長山洋史, 池田公平, 五味郁子, 樋口良子, 福岡 梨紗, 岸川学, 高橋恭子, 水戸優子, 2025年03月, 日本語, 「教育用模擬電子カルテ」を活用したIPEの実装と教育効果 ―紙カルテと電子カルテの事例提供方法の比較に基づく検証―, 査読あり, ヒューマンサービス学会誌, 2024 Vol. 2, 44-52

4. 学会発表等

- 1) ポスター, 筆頭者・責任者, Kohei Ikeda, Satoshi Sasada, Activities of Daily Living Independence of Stroke Patients Upon Admission Affects the Impact of Interprofessional Collaboration, 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024, 2024年11月
- 2) ポスター, 共同研究者, Hirofumi Nagayama, Junya Uchida, Moeka Yamada, Kounosuke Tomori, Kohei Ikeda, Latent Class Analysis to Identify Patient Characteristics That Incorporating Multiple Outcomes in Acute Stroke, 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024, 2024年11月
- 3) ポスター, 共同研究者, Takao Kaneko, Hirofumi Nagayama, Takuto Nakamura, Kohei Ikeda, Natsuki Inoue, Ayaka Niimi, Taisei Takeda, Junya Uchida, Cost-effectiveness of occupational therapy for older adults: an updated systematic review, 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024, 2024年11月
- 4) ポスター, 共同研究者, 後藤健太郎, 池田公平, 濱田匠, 中村拓人, 笹田哲, 作業療法分野における児童虐待に係る研究: スコーピングレビュー, 第58回日本作業療法学会, 2024年11月
- 5) ポスター, 共同研究者, 肱黒そめ香, 池田公平, 脳卒中後の無気力に対する評価と介入および効果: スコーピングレビュー, 第58回日本作業療法学会, 2024年11月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本作業療法士協会, 会員, 2009. 4. 1～
- 2) 神奈川県作業療法士会, 会員, 2009. 4. 1～
- 3) 神奈川県作業療法士会, 事務局員, 2015. 8. 1～2017. 5. 31
- 4) 第16回神奈川県作業療法学会 学会準備委員会, 運営局 機器展示担当, 2015. 10～2016. 5. 31
- 5) 神奈川県作業療法士会, 選挙管理委員長, 2016. 5. 1～
- 6) 横浜市障害支援区分認定審査委員会, 審査委員, 2017. 4. 1～2019. 3. 31
- 7) 第17回神奈川県作業療法学会 学会準備委員会, 会財務部部長, 2019. 7. 1～2020. 5. 31
- 8) 日本臨床疫学会, 会員, 2019. 4. 1～
- 9) 日本臨床作業療法学会, 会員, 2019. 4. 1～
- 10) 日本リハビリテーション連携科学学会, 会員, 2019. 4. 1～
- 11) 日本作業行動学会, 会員, 2021. 4. 1～
- 12) 日本公衆衛生学会, 会員, 2022. 4. 1～

6. 社会貢献

- 1) 本学オープンキャンパス, ミニオープンキャンパスの企画・運営補助, 2024. 4. 1～2025. 3. 31

- 2) よこすか浦賀病院にて診療指導および地域医療への協力, 2019. 4. 1～2025. 3. 31
- 3) 2024年度うみかぜ祭 学生委員会として補助, 2024. 11. 3
- 4) 2024年度病院施設説明会 進路支援ワーキンググループとして運営補助, 2024. 6. 15
- 5) 模擬授業 神奈川県立私立横浜翠陵高等学校, 2024. 12. 9

8. 学会等での活動

- 1) 第6回神奈川県臨床作業療法大会 後述発表座長, 2024. 12. 8

9. 学内教育活動

1) 学部

身体機能評価学におけるアクティブラーニングの導入（事前学習型授業，反転授業，グループワーク，視聴覚教材の活用），2018. 4. 1～

作業適用学におけるアクティブラーニングの導入（事例学習，グループワーク，プレゼンテーション），2018. 4. 1～

ロールプレイと技術学習の実施, 2018. 4. 1～

実習（体験学習），2018. 4. 1～

クリニカルリーズニングの実践と双方向アンケートの実施, 2018. 4. 1～

授業開始前の小テスト, 2018. 4. 1～

双方向アンケート, 2018. 4. 1～

卒業研究, 2019. 4. 1～

国家試験対策, 2018. 4. 1～

他学科の講義への参加, 2018. 4. 1～

講義用補助教材（ワークシート）の作成, 2018. 4. 1～

視聴覚教材の作成, 2020. 4. 1～

客観的臨床能力試験(Objective Structured Clinical Examination) 試験問題作成, 2019. 4. 1～

10. 学内各種委員会活動

- 1) 入学式・卒業式・修了式委員会, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 2) 学生委員会, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 3) 進路支援ワーキンググループ, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 4) 作業療法学専攻内の入試ワーキンググループ, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 5) 作業療法学専攻内の就職担当, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 6) 客観的臨床能力試験(Objective Structured Clinical Examination) ワーキンググループ, 2024. 4. 1～2025. 3. 31

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 若手研究, 代表者, 池田公平, 笹田哲, 脳卒中後遺症患者の自立生活支援のための多職種連携評価尺度の開発 (20K19452), 650千円, 2020年04月, 2023年03月
- 2) 基盤研究 (C), 代表者, 池田公平, 長山洋史, 臨床現場の医療従事者のためのInterprofessional Educationプログラムの構築 (23K10508), 2, 200千円, 2023年04月, 2028年03月
- 3) 基盤研究 (B), 分担者, 長山 洋史, 山内 慶太, 泉 良太, 池田 公平, 岸 知輝, 友利 幸之介, 脳卒中患者の全体像予測システムに基づくリハビリテーション治療戦略 (20H03914), 17, 290千円, 2020年04月, 2024年03月
- 4) 基盤研究 (B), 分担者, 長山 洋史, 池田 公平, 中村 拓人, 友利 幸之介, 岸 知輝, 山内 慶太, リハビリテーションの効果を最大化するシステム構築 (24K02671), 18, 590千円, 2024年04月, 2029年03月

12. 学内研究助成金の受託

- 1) 学長推薦研究費, 分担者, 渡邊 恵 (研究代表者), 長島 俊輔, 加藤木 真史, 池田公平ほか, 事例提供ツールとしての模擬電子カルテの開発と導入～多職種連携能力育成を意図した事例学習プログラムの検討と教育評価～, 2, 500千円, 2022年07月, 2023年03月
- 2) 研究助成 A (協働研究), 分担者, 黒河内仙奈 (研究代表者), 岸川学, 池田公平ほか, 地域特性を反映した領域横断型学習教材の開発, 362千円, 2022年07月, 2023年03月
- 3) 研究助成 A (協働研究), 分担者, 平瀬達哉 (研究代表者), 成松宏人, 中村翔, 池田公平ほか, 運動器疼痛を抱えた高齢者のサルコペニアの発生を予防する介入戦略の開発に向けた調査研究, 1, 108千円, 2023年04月, 2024年03月
- 4) 研究助成 A (協働研究), 分担者, 黒河内仙奈 (研究代表者), 岸川学, 池田公平ほか, 地域特性を反映した領域横断型学習教材の洗練と予備的導入, 430千円, 2023年05月, 2024年03月
- 5) 研究助成 A (協働研究), 分担者, 黒河内仙奈, 岸川学, 池田公平 ほか5名, 地域特性を反映した領域横断型学習教材を用いた授業の展開と評価 一学生と教材作成に参加した地域住民への効果の評価一, 429千円, 2024年05月, 2025年03月

佐藤 範明

4. 学会発表等

- 1) ポスター, 共同研究者, 千葉 美並, 古賀 誠, 佐藤 範明, 疲労の自覚と言語表出・セルフモニタリングを促すツールとして 気分と疲労のチェックリストを用いる有用性の検討, 第58回日本作業療法学会, 2024年11月
- 2) ポスター, 共同研究者, 山岡 光里, 佐藤 範明, 岡村 泰, 意志のサイクルに着目した支援により価値を置く作業に従事することができた事例, 第58回日本作業療法学会, 2024年11月
- 3) ポスター, 共同研究者, 古賀 誠, 嘉部匡朗, 小林崇志, 佐藤範明, 青木啓一郎, 精神障害領域におけるOSCEの検討と挑戦ー昭和大学での導入に向けてー, 第29回日本作業療法教育学会, 2024年11月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 一般社団法人日本作業療法士会, 教育部 部員, 2022. 4. 1～現在に至る
- 2) 日本作業療法学会 , 演題査読委員, 2024. 1. 1～現在に至る
- 3) 一般社団法人神奈川県作業療法士会, 理事, 2019. 5. 1～現在に至る
- 4) 一般社団法人神奈川県作業療法士会, 地域リハビリテーション部 部員, 2017. 4. 1～現在に至る
- 5) 一般社団法人神奈川県作業療法士会, 臨床実習指導者講習会 世話人, 2020. 1. 1～現在に至る
- 6) 第20回神奈川県作業療法学会 , 実行委員 ホームページ運営委員長, 2024. 11. 1～現在に至る

6. 社会貢献

- 1) 県立霧が丘高校分野別説明会, 2025. 1. 23
- 2) 本学ミニオープンキャンパスの運営補助, 2025. 3. 27

9. 学内教育活動

1) 学部

基礎作業学実習（1年次）, 2024. 9, 科目責任者作業療法の各領域のアクティビティ体験の授業になるように外部講師と調整・打ち合わせを行った。

作業適用学（1年次）, 2024. 9, 外部施設見学引率学生の出席確認, 講義および施設見学中の見守りを行った。他の教員と外部施設スタッフと協業し, 学生の講義受講・見学実習が円滑に進むよう支援をした。

評価学概論（1年次）, 2024. 10, 一部担当科目（1コマ）観察に関する視聴覚教材を作成した

．授業内容は実技を取り入れることで、観察者・被観察者を体験し、医療人としての態度・技術の獲得を図った。

精神障害作業療法学（2年次）, 2024. 9, 授業補助講義では学生と面接練習の相手を務めたり、他の教員と評価のロールプレイを行い、学生が評価技術を円滑に修得できるよう役割を果たした。また、適時学生の質問に対応し、科目責任者と情報共有を行い講義をサポートした。

救命・救急学概論（2年次）, 2024. 11, 授業補助の一次救命処置（BLS）において、補助として講義に参加した。補助教員として、実技物品の運搬・準備、学生の出席・リアクションペーパーの回収、修了証の配布を担い、講義の進行を支援した。

解剖学実習（2年次）, 2024. 12, 実習引率解剖見学実習において、2度の引率を務めた。引率では実習物品の運搬、学生の出席・レポートの確認、実習中の学生の健康状態への配慮および不調者への対応、実習地での学生の質問への対応を行った。また、科目責任者とメールおよび対面で打ち合わせを行い、解剖学実習が事故なく、学生の教育の促進を図った。

見学評価学実習（2年次）客観的臨床能力試験, 2024. 12, OSCE運営会場設営・道具の準備・評価者を担い、学生に対しフィードバックを教示することで学生の臨床技術の学習を支援した。

見学評価学実習（2年次）, 2025. 2, 学生2名担当実習事前後の面談の実施、および実習中に臨床実習指導者と連絡をとることで、学生の実習による学習を支援した。

総合臨床実習（3年次）客観的臨床能力試験, 2024. 12, OSCE運営会場設営・道具の準備・評価者を担い、学生に対しフィードバックを教示することで学生の臨床技術の学習を支援した。

総合臨床実習（3年次）, 2025. 1, 学生1名担当実習事前後の面談の実施、および実習中に実習地訪問を行い、実習指導者と情報共有を行い、学生の実習による学習を支援した。

実習サポート（2・3年次）, 2025. 1, 実習中、学生が現場にて課題や態度、指導者との関係などの困難に直面した際、随時面談等を行い支援した。

国家試験対策・支援（4年次）, 2024. 9, 国家試験対策グループ学習の企画・運営に携わった。また、学習・試験に不安を抱える学生と面談を行い、適宜学習方法の指導や心理的支援を行った。

10. 学内各種委員会活動

- 1) 教職員親睦・秋会 実行委員, 2024. 11
- 2) 卒業式・修了式運営担当, 2025. 3

中村拓人

2. 学術論文

- 1) 原著論文, 筆頭著者・責任著者, Nakamura, T., Koyama, S., Nagayama, H., & Sasada, S., 2024年07月, 英語, Participation questionnaire for preschoolers with autism spectrum disorder: Item development., 査読あり, Occupational Therapy International, 2024 (1), 4573526, 10.1155/2024/4573526
- 2) 原著論文, 筆頭著者・責任著者, Nakamura, T., Nagayama, H., & Sasada, S., 2024年11月, 英語, Development and validation of the Participation Questionnaire for Preschoolers with Autism Spectrum Disorder: Structural validity, internal consistency, and construct validity. , 査読あり, Physical & Occupational Therapy In Pediatrics, Published online, 1-16, 10.1080/01942638.2024.2421856
- 3) 原著論文, 共著者, Maruyama, S., Miyamoto, R., Amano, S., Nakamura, T., & Bontje, P., 2024年04月, 英語, Examining Minimal Important Change of the Self-Assessment Scale of Clinical Reasoning in Occupational Therapy., 査読あり, Journal of Occupational Therapy Education, 8(2), 9., 10.26681/jote.2024.080209

3. その他の著作

- 1) Nakamura, T., Koshio, I., Maruyama, S., Ikeda, K., Nagayama, H., & Sasada, S., 2024年12月, Longitudinal Measurement Properties of the Participation Questionnaire for Preschoolers: Reliability, Responsiveness, and Interpretability., medRxiv, <https://doi.org/10.1101/2024.12.13.24318179>, プレプリント

4. 学会発表等

- 1) ポスター, 筆頭者・責任者, Takuto Nakamura, Hiroyasu Shiozu, Hirofumi Nagayama., Effectiveness of Occupational Performance Coaching for Children and Caregivers: A Scoping Review. , 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress (Sapporo)., 2024年11月
- 2) 口頭, 共同研究者, Kentaro Goto, Takuto Nakamura, Satoshi Sasada., Characteristics of Child Maltreatment Prevention in Japanese Occupational Therapy: A Qualitative Descriptive Analysis. , 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress (Sapporo)., 2024年11月
- 3) ポスター, 共同研究者, Koki Kura, Takuto Nakamura, Satoru Amano, Kayoko Takahashi., A scoping review of home-centered occupational therapy for children with neurodevelopmental disorders and their families., 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress (Sapporo)., 2024年11月

- 4) ポスター, 共同研究者, Sho Maruyama, Reiko Miyamoto, Satoru Amano, Takuto Nakamura, Peter Bontje., Interpretability of the self-assessment scale of clinical reasoning in occupational therapy (SA-CROT): Minimal important change in fieldwork., 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress (Sapporo)., 2024年11月
- 5) 口頭, 筆頭者・責任者, 中村拓人, 小塩育, 丸山祥, 池田公平, 長山洋史, 笹田哲, こどもの参加質問紙の縦断的測定特性: 信頼性、反応性、解釈可能性, 第13回日本発達系作業療法学会学術大会(東京), 2025年03月
- 6) 口頭, 筆頭者・責任者, 中村拓人, 小塩育, 丸山祥, 池田公平, 長山洋史, 笹田哲, こどもの参加質問紙: テスト再テスト信頼性、反応性、解釈可能性の検証, 神奈川県立保健福祉大学研究発表会(横須賀), 2025年03月
- 7) 口頭, 共同研究者, 後藤 健太郎, 中村 拓人, 濱田 匠, 池田 公平, 笹田 哲, 作業療法分野における児童虐待に係る研究: スコーピングレビュー, 第58回日本作業療法学会(札幌), 2024年11月
- 8) ポスター, 共同研究者, 山本 健太, 中村 拓人, 母親の主体性を引き出す保護者支援OPCを活用して介入した1事例, 第58回日本作業療法学会(札幌), 2024年11月
- 9) 口頭, 共同研究者, 後藤健太郎, 池田公平, 中村拓人, 濱田匠, 笹田哲, 作業療法領域の児童虐待に係るScope Review, 日本子ども虐待防止学会第30回学術集会(高松), 2024年11月
- 10) 口頭, 共同研究者, 小塩育, 中村拓人, 長山洋史, 自閉スペクトラム症の未就学児のメンタルヘルス: Strengths and Difficulties Questionnaireの潜在移行分析, 第13回日本発達系作業療法学会学術大会(東京), 2025年03月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 一般社団法人 神奈川県作業療法士会, 学術誌神奈川作業療法編集委員, 2023. 4. 1～
- 2) ヒューマンサービス学会, 第2回ヒューマンサービス学会学術集会実行委員, 2023. 4. 1～
- 3) 一般社団法人 神奈川県作業療法士会, 臨床実習指導者講習会世話人, 2023. 4. 1～
- 4) 一般社団法人 神奈川県作業療法士会, 神奈川県作業療法士会選挙管理委員, 2022. 9. 1～

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス 運営担当, 2018. 4. 1～
- 2) 高校訪問 県立横浜平沼高校, 2024. 9
- 3) 高校訪問 県立相模原高校, 2024. 9

8. 学会等での活動

- 1) 第20回東京都作業療法学会 シンポジスト, 2024. 7. 14

9. 学内教育活動

作業適用学, 2024. 4, 科目責任者を務める. 新入生が作業療法に対する具体的なイメージを持つことができるよう, 講義だけではなく、視聴覚教材や, ワークショップ形式も採用した。また専攻教員に協力を求め, グループに別れて事例を検討する問題解決型の授業を行った。また, 見学実習を運営するなど, 学生の学習経験が担保されるよう工夫した。

評価学概論, 2024. 8, 「QOL・役割・興味の評価」の回を担当した。

保健福祉医療 I, 2024. 8, 補助教員として授業のサポートを担当した。

評価学実習, 2024. 8, 科目責任者を務める。

発達系評価学, 2024. 4, 補助としてほとんどの講義に参加し, およそ半分程度の講義を受け持つ。実際の子どもの様子や作業療法場面を視聴覚教材を豊富に併用するとともに, 学生が主体的に参加できるよう問題解決型の授業を行った。

発達障害作業療法学, 2024. 10, 補助としてほとんどの講義に参加し, およそ半分程度の講義を受け持つ。実際の子どもの様子や作業療法場面を視聴覚教材を豊富に併用するとともに, 学生が主体的に参加できるよう問題解決型の授業を行った。

総合臨床実習 I, 2025. 1, 科目責任者を務める。

発達障害作業療法学演習, 2024. 4, 補助として全ての講義に参加し, およそ8割程度の授業を担当する。

遊び余暇活動治療学, 2024. 10, 補助として全ての講義に参加し, およそ8割程度の授業を担当する。

地域作業療法学, 2024. 4, 1～2コマの講義を担当した。

感覚運動アプローチ論, 2024. 4, 1～2コマの講義を担当した。

作業療法研究法, 2024. 4, 1～2コマの講義を担当した。

臨床作業用法学演習, 2024. 10, 実技試験 (OSCE) を担当した。

10. 学内各種委員会活動

- 1) 動物実験専門部会委員, 2024. 4

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究 (B), 分担者, 長山 洋史, 池田 公平, 中村 拓人, 友利 幸之介, 岸 知輝, 山内 慶太, リハビリテーションの効果を最大化するシステム構築, 18, 590千円, 2024年04月, 2029年03月

12. 学内研究助成金の受託

- 1) 研究助成 B (奨励研究), 代表者, 笹田 哲, 長山 洋史, 自閉スペクトラム症児の行動特性サブタイプと参加への影響: 潜在移行分析, 300千円, 2024年04月, 2025年03月

13. 受賞

- 1) 第13回日本発達系作業療法学会学術大会, 大会長特別賞, 2025年03月